

# 2022年度 新入生歓迎会実行委員会 総括

2022年度新入生歓迎会実行委員会

委員長 木本 己付希



## 1. 構成

新入生歓迎会実行委員会とは、常任委員会・学園祭実行委員会・学科連合委員会により構成された委員会である。

## 2. 方針

2022年度新入生歓迎会実行委員会は、学生団体に対して“学生団体が公平に発表できる場を提供し、新入生と学生団体をつなげる”、新入生に対して“新歓委員で協力して、新入生に最大限楽しんでもらえる機会を提供する”という方針を掲げ活動していった。

## 3. 目的

2022年度新入生歓迎会実行委員会は学生団体に対して“学生団体がより多くの新入生を獲得する”、新入生に対して“新入生に大学生活のいいスタートをきってもらおう”という目的を掲げ活動していった。

## 4. 企画

### a) ステージ企画

学園祭実行委員会・学科連合委員会がそれぞれ企画を出す。場所はいぶきホールを使用する。新入生に参加してもらうことにより、新入生同士の交流の場を作ること、工学院大学のイベントを新入生に知ってもらうことを目的とした。ゲーム企画を二つといった各委員会の特色を生かした企画を作ることによって新入生歓迎会を盛り上げた。また景品を用意することでステージ企画の盛り上がりも期待できた。新入生がステージ企画を通して交流すること、工学院大学の情報を得ることで新入生の今後の学生生活を充実させるための期待を持てるものにした。

また、ステージ企画は全て、想定人数を満たすことができた。

### b) イベント企画

今回の新入生歓迎会では1つのイベントを行った。今回のイベントは新入生が企画で関わった人と2回以上会いたいと思える交友関係をつくる。また、新入生が抱えている学生生活への不安を一人一人に合わせて解消して期待につなげてもらい、今後の行動の選択肢を増やしてもらうことを目的とした。場所は学生ラウンジ及び1W-111を使用する。グループで協力してより高い点数を目指すゲームを行うことにより新入生同士の絆を深めてもらった。また景品を用意することでイベント企画の盛り上がりも期待できた。またイベント企画も想定人数を満たすことができた。

### c) ブース設置

学生団体が4月5日、7日にブースで参加学生団体が勧誘活動を行った。学生団体のメンバーが新入生と個別に話すことのできる場になり、新入生が学生団体のことをより詳しく知る機会になった。その際、ブース設置所には多くの新入生と学生団体がいることから、活動規約を遵守してもらう必要があった。そのため、新入生歓迎会実行委員会は学生団体が活動規約に違反した活動を行わないように監視をした。

### d) パンフレット・ガイドブック・ピラ配布

まず新入生に大学がどのような様子なのかを感じてもらい、そして新しく始まる生活に期待を持ってもらった。さらに大学での疑問や不安をなくすことを目的としたパンフレットを作成する。次に新入生に新入生歓迎会のイベント情報を提供することを目的とし、新入生歓迎会でのイベント情報をまとめて、オンライン上に掲載するガイドブック及びオリエンテーション期間中に配布するピラの作成をした。

### e) 教室企画

新入生の工学院大学へ持つ第一印象をいいものにしてもらい、かつ今後の新生活を安心して始めてもらった。また、興味を持つ学生団体に気軽に加入してもらうことを目的とした。新入生に工学院大学の詳しい学校生活や学生団体を紹介した。また、簡単なゲームをすることで、楽しみながら学校生活について知ってもらった。さらに、新入生が上級生と話す時間を設け、これからの学生生活についてよく知ってもらった。また新入生が不安に思っていることを解消してもらい、今後の新生活を安心して始めてもらうことを目的とした相談ブースを教室で開催した。

### f) Zoom 学生団体紹介

学生団体が4月6日にZOOMで勧誘活動を行った。団体ごとに時間を分けて団体に所属するメンバーが新入生に紹介した。新入生が学生団体のことをより詳しく知る機会になる。新入生歓迎会実行委員会は学生団体が円滑に勧誘できるように運営し、活動規約に違反した活動を行わないように監視をした。

### g) 教室説明会

新入生が学生団体の説明を詳しく受けることを目的とした。新入生は各学生団体から直接、活動内容の映像や活動の実演といった方法で説明を受けることができ、新入生は学生団体の具体的な活動内容や雰囲気を知ることができた。よって学生団体がより多くの新入生を獲得に繋がった。

### h) 公式 SNS

新入生歓迎会の公式 SNS を運用し、新入生に大学生活のいいスタートを切ってもらうことを目的として、媒体として Twitter、LINE、Instaglam を介して、新入生歓迎会に関する様々な情報を新入生に対してはもちろん、新入生だけでなく、様々な人にも情報がいきわたる SNS の拡散力を生かすことにより、新入生歓迎会の広報にとどまらず、工学院大学の広報にもつなげた。

### i) 立体アート

工学院大学の略称である“KUTE”という文字を1文字ずつ、高さ1メートルほどの立体で表す。また KUTE という四つの文字を違う側面から見ると、工学院に存在する四つの学部を象徴するデザインを見ることが出来る構造にする。こういった作品を作ることで、新入生にその場で楽しんでもらうだけでなく、新歓が終わった後も思い出に残るようにした。

### j) キャンパス・ブースマップ

校舎の配置を一目でわかるようにするためにキャンパスマップを設置した。また、新入生が興味のある学生団体のブースにスムーズに行けるようにフロアマップを設置した。場所はメインストリートを使用した。看板という目につきやすく、見やすい大きなマップを作ることで、多くの新入生にわかりやすく情報を提供することができた。